

7月28日(火)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

今年はオンラインで
元気に発行中!

ほほ

日刊サマーミュージック ONLINE

Hobo Nikkan Summer Muza

おかえりなさい、国府さん!! 貴女がジャズを教えてくれた



©青柳聡

【7月26日(日)サマーナイト・ジャズ】

2019年11月16日、佐山雅弘メモリアルコンサートの当日に国府弘子が救急車で搬送されたというニュースは衝撃だった。1ヶ月で復帰したが、ミュージアの舞台に立つのは久々のこと。先に7月24日に小川典子と共演済みだが、26日は満を持してサマーナイト・ジャズに初出演。レギュラーのトリオではエレキベースの八尋洋一が低音を支えているのだが、今回はウッドベースの井上

陽介が加わることで、トリオ全体の印象が思いのほか変わったのが興味深い。レギュラーメンバーである岩瀬立飛の攻めがより際立ち、歌うようなプレイを堪能した。そこに第1・2部それぞれ、ゲストが加わるのだが、前半は寺久保エリナ——天才少女も気づけば今年で28歳だ。若い頃のウinton・マルサリス(ブランフォードではなく!)を思わせる、余韻綿々で器用なプレイはあいも変わらず。

後半のゲストは国府が寵愛する早稲田桜子と、80年代にジャズファン以外からも支持されて一世を風靡した阿川泰子だ。ホール全体を一瞬にして自分の空気にしてしまう阿川の魔力は凄まじい限りなのだが、バンドを束ねる国府のサポートが万全で、文句なしの素晴らしい。加えて、ジョー・サンプルや松岡直也といった故人の名アレンジやエピソードトークが味わい深く、公演に奥行きをもたらしていたことを付記しておこう。

(音楽ライター 小室敬幸)



終演後、出演者全員で

来場者の声

配信でしたが、初めてジャズを聴きました。今までクラシックのコンサートしか聴いたことがなかったので、どうなんだろうと思っていましたがとても楽しく素敵なひと時でした。次は、生で聴いてみたいです。(50代・介護職・ゆうくん) 広島から動画視聴させていただきました。今はコンサート会場に足を運ぶことがなかなかできないですが、大好きな国府さんをはじめ、みなさんの演奏をまたライブで楽しめる日がやってきて、とても感激しています。動画配信も、とても臨場感にあふれていて素晴らしいです。(40代・教員・pianica) ステイホームになってから、目に見えないチャンネル争いが静かに進んでいく中、今日ばかりは夫婦仲良くジャズを楽しみました。音楽はエイジレス。阿川泰子さんの名言、頂きました。(50代・パート・佐間亜美勇子) 女声のNew York state of mind を聞いたのは初めて。深みのある阿川さんの声にびっくりして驚いた。阿川さんの自由奔放な(?) MCに振り回されつつバシッと締める国府さんのピアノノリーダー感にもじびれました。(40代・ベリンダ) 響の良いミュージア川崎でのジャズ、期待してホールに向かったが期待に違わず素晴らしい時間を過ごす事が出来た、来年も是非同様の企画を期待しています!!(50代・会社員・とりすたん)

今年のサマーミュージックは生音+生配信!



ホール座席券・
オンラインチケットは
こちらから→

#サマーミュージックで投稿してください!
Twitter : @summer_muza
Facebook : @kawasaki.sym.hall
Instagram : @muzakawasaki

エンジョイ! 川崎!!

Enjoy Kawasaki パートナーショップのご紹介

栄養満点の和定食で
夏をのりきろう!

「カワスイ」の入るルフロン2階に、ご飯ととろろのお店「とろ麦」がある。明るいショーケースには、魅力的な和定食が並ぶ。写真は、「ゴマアジのおひつご飯ととろろの定食」醤油ベースでゴマと絡めたアジととびこの乗ったご飯、とろろ、温泉卵、自家製豆腐、みそ汁、漬物という彩豊かな栄養満



点のセット。看板メニューのとろろは、だしのきいた薄味で、上品なお味。取り皿が付くので、とろろとご飯だけで食べてもよし、他のおかずを混ぜていただくのもよし。自分好みのとろろ飯を、ぜひご賞味ください。(事業企画課 いお)

ごはんのとろろ とろ麦

川崎ルフロン2F
パートナーショップ特典
飲食代10%OFF

PARTNER SHOP LIST
サマーミュージックが優待サービス!

サマーミュージックの
期間中はいつでも
ご利用可能です♪
おトクなクーポンは
←こちらから!!

